

## 漁太・林田地区

### 恵庭神社遥拝所跡（えにわじんじゃようはいじょあと）

平成 8 年 社を撤去し、鳥居、石灯籠、と碑を残すのみとなりました。



社があった頃



現 在

### イザリフト番屋・船着場

昔の千歳川の流れは現在とは異なり、南 12 号橋の少し下流で漁川と合流していました。

赤い線は昔の千歳川の流れです。  
の地点で漁川と合流していました



- 江戸時代の松浦武四郎等の紀行文にも登場するイザリフト番屋は漁場・漁具の管理、宿泊機能も備えていました。


「イザリフト番屋の図」  
出典：『再航蝦夷日誌』  
松浦武四郎 著



・船着場

漁太は明治から昭和初期にかけて恵庭の玄関口、水上交通の要衝として栄えました。大正15年、鉄道の開通により流通の中心は陸上輸送へと変わり行くこととなり、昭和10年代に入ると水運はしだいに利用されなくなりました。



 = 船着場の位置

**松鶴（しょうかく）小学校跡地（現 恵庭市公民館松鶴分館）**

明治34年 開校

漁太林田地区に入植した  
加越能開耕社の住民等の  
寄付による。

昭和46年 松恵小学校に統廃合され、  
廃校となる。



昭和10年頃の写真



現 恵庭市公民館松鶴分館



バックネットが残っています